

# 米国バイオ&テクノロジー株オープンの運用状況

米国バイオ&テクノロジー株オープン  
追加型投信／海外／株式

2019年1月10日

米国バイオ&テクノロジー株オープンでは、米国のバイオテクノロジー、情報技術（IT）、先端技術製品、サービステクノロジー等の各分野の株式を買い付け、ポートフォリオを構築しています。

本レポートにおいては、米国株式市場の足元の動向、関連セクターの四半期業績の動向、当ファンドの足元の運用状況についてお伝えします。

## 【景気減速懸念が強まる中、株価は調整】

12月の米国株式市場は、上旬は、景気減速懸念が高まったことに加え、米中貿易摩擦への警戒感が再燃したことから下落しました。中旬から下旬にかけては、米連邦準備制度理事会(FRB)が、2019年以降も追加利上げを行う方針を示したことや、一部の政府機関が閉鎖される可能性が浮上したことから、続落しました。その後、月末から年明けにかけては、景気を巡る懸念が和らいだほか、パウエルFRB議長が、将来の利上げやバランスシート縮小を巡って柔軟に対応する発言を行ったことが好感され、反発する展開となりました。

## 【製薬業界でM&Aを模索する動き】

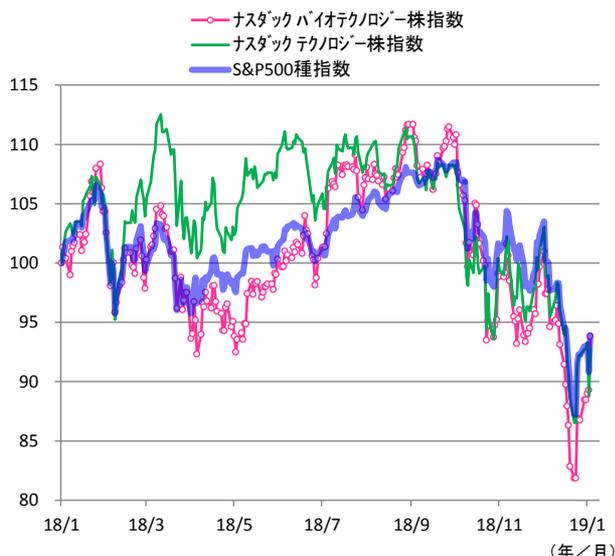
2018年10月以降の株価の下落を受けて、足元では複数の大手製薬企業が新たなM&A(合併・買収)を行うことにより、業績の拡大を模索していると言われています。特に、研究開発力を有する質の高いバイオテクノロジー企業に対しては、株式を割安な価格で取得する好機が訪れたとの見方が浮上していることから、さらなる下値余地は限られると考えられます。

## 【ヘルスケアセクターが市場全体の牽引役へ】

S&P500種指数構成銘柄の予想EPS(1株当たり利益)成長率は現在、2018年10-12月期は前年比+12.6%、2019年1-3月期は同+3.4%に達すると見込まれています。情報技術セクターでは、先行きの業績不安に加え、法人税率引き下げの効果が剥落することも重なり、一部のサブセクターで減益になると見込まれています。一方、ヘルスケアセクターでは2019年1-3月期以降、S&P500種指数を上回るペースでの増益になると予想されています。米国において景気の減速が懸念される中、バイオ関連株の業績の底堅さがあらためて注目され始めると考えられます。

## 米国の主要株価指数の推移

(2018年1月2日～2019年1月4日、2018年1月2日=100)



(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

## S&P500種指数構成銘柄の情報技術セクターとヘルスケアセクターの予想EPS成長率(1月4日現在)

セクター	2018年 10-12月期	2019年 1-3月期
情報技術	5.7%	-2.0%
半導体	5.4%	-8.7%
ソフトウェア・サービス	12.1%	5.9%
テクノロジー・ハードウェア機器	-0.1%	-6.3%
ヘルスケア	10.5%	7.7%
ヘルスケア機器・サービス	14.1%	9.1%
医薬品・バイオテックライフサイエンス	8.5%	6.9%
S&P500	12.6%	3.4%
S&P500(除く金融)	12.2%	3.5%
S&P500(除くエネルギー)	10.5%	3.0%

(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国バイオ&テクノロジー株オープン  
追加型投信／海外／株式

【当面の株式市場見通しと運用方針】

当面の米国株式市場は、短期的には米中貿易交渉を巡る先行き不透明感や、FRBの金融政策への姿勢に対する警戒感からリスク回避的な動きが見込まれるものの、その後は1月中旬以降に本格化する2018年10-12月期の企業業績発表において、個別企業の実績や見通しが市場予想を上回る良好な内容になるかが注目材料になると考えられます。向こう3ヵ月間では、米中貿易交渉に関して、中国が米国にある程度歩み寄りの姿勢を示すことで交渉が改善の方向に進み、市場の過度に悲観的な見方が後退する中、米国株式市場は、下値を切り上げる展開に移行すると予想されます。

当ファンドの運用につきましては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドからの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行い、組入れを行います。テクノロジー関連株に関しては、5G(第5世代移動通信システム)関連投資の増加の恩恵を受けると予想される通信機器関連株やソフトウェア株のウェイトを引き上げる方針です。バイオ関連株については、遺伝子治療や細胞療法の分野において研究開発力を有する企業へのウェイト付けを継続する方針です。

運用状況 (作成基準日 2019年1月7日)

設定来の基準価額推移  
(2015年3月17日～2019年1月7日)



ファンドデータ(1月7日現在)	
基準価額(円)	8,625
残存元本(百万円)	15,575
純資産総額(百万円)	13,432
株式組入比率(%)	88.0
短期金融商品その他(%)	12.0
組入銘柄数	49

セクター別組入比率(1月7日現在)	
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	31.2%
ソフトウェア・サービス	25.5%
半導体・半導体製造装置	7.7%
ヘルスケア機器・サービス	7.2%
メディア・娯楽	6.2%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.8%
小売	4.3%

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。 ※小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。  
 ※各比率はマザーファンドを通じた実質組入比率です。 ※分配金再投資基準価額は、設定日を起点として算出しております。  
 ※分配金実績(1万口当たり、税引前)：2015年6月9日に450円、2017年6月9日に50円、2017年12月11日に650円、  
 2018年3月9日に550円、2018年6月11日に550円、2018年9月10日に500円  
 (設定来累計 2,750円)

以上  
(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**米国バイオ & テクノロジー株オープン  
追加型投信 / 海外 / 株式**
**米国バイオ & テクノロジー株オープンに関する留意事項**
**【岡三アセットマネジメントについて】**

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

**【投資リスク】**

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
  - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

**【その他の留意点】**

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
  - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
  - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
  - ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
  - 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

**【お客様にご負担いただく費用】**

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料：ありません。
  - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
  - 運用管理費用（信託報酬）  
：純資産総額×年率1.782%（税抜1.65%）
- その他費用・手数料
  - 監査費用：純資産総額×年率0.01296%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

**販売会社**

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
高木証券株式会社	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			

**<本資料に関するお問合わせ先>**
**フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)**